

学校経営推進費 評価報告書（1年め）

1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立豊中高等学校能勢分校
取り組む課題	授業改善への支援（生徒の学力の充実）
評価指標	①：全国的な学力コンクールでの顕彰 ②：生徒と外部人材（企業・行政・学校等）との接点数 ③：生徒－地域住民連携型ワークショップの実施回数 ④：学校教育自己診断（生徒）の項目「学ぶ意欲」「地域課題解決」の肯定回答率 ⑤：外部機関の学力生活実態調査における学力および学習習慣の結果
計画名	Teracoya Nose Japan ～世代や国を超えた学び合いによるアクティブラーニングの実現～

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個に応じた学力の定着と希望進路実現 <ol style="list-style-type: none"> (2) 主体的・能動的な学習の促進 <ul style="list-style-type: none"> ア 生徒が1人1台端末を利活用できる環境を整備するとともに、ICT機器やグループウェアの活用により、学校でも家庭でも学習を習慣化する仕組みを構築する。 2. 「挑戦」「協働」「創造」できる力の醸成 <ol style="list-style-type: none"> (3) 持続可能な未来社会の実現に向けて新しい価値を生み出す力の育成 <ul style="list-style-type: none"> ア ユネスコスクールのネットワークや国際協力団体・海外姉妹校等との交流により、多文化共生意識の醸成やSDGs教育の充実を図る。 イ グローバルな視点から地域課題を捉え、新たな解決策や新たな価値を生み出す力を育む。 3. 地域との協働による教育活動の磨き込み <ol style="list-style-type: none"> (1) 地域との協働による課題探究の実践 <ul style="list-style-type: none"> ア 近隣の大学や関係機関、行政、地域団体・企業等との協働により、地域課題を自分ごとと捉え、正解のない課題に向き合う探究学習を深化させる。
事業目標	<p>「Teracoya Nose Japan」（略称：TNJ）とは、能勢分校が学びの連携拠点となり、世代や国を超えて学び合う機会を提供することを通じて、関わるすべての人における主体的・対話的で深い学びを促進する事業の呼称である。コンセプトは、3つのCo（「Connect：つながる」「Communicate：つたえる」「Collaborate：ともにやる」）。</p> <p>具体的には、生徒や地域住民がいつでも利用できる共創空間（ラウンジ）を校内に設置し、探究活動、ワークショップ、国内・海外交流、外部人材講演、自己研鑽できる場を提供。学びの連携拠点校としての機能・役割を果たすことで、地域とのさらなる信頼醸成に加え、「SDGs未来都市」である能勢町の持続可能なまちづくりに貢献する。</p> <p>本事業を通じて、下記3点の実現をめざす。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① <生徒>主体的な学びを通じた、「課題設定・解決力」「協働して活動する力」「やり抜く力」の習得 <ul style="list-style-type: none"> → 主体的に仲間や地域住民と共に学び、地域における本質的な課題を捉え、ねばり強く課題探究を続ける。 ② <教員>地域との協働による「実践体験型PBLプログラム」の開発と実践 <ul style="list-style-type: none"> → 地域の企業や団体、行政が抱えている現実課題に対して、一緒になって解決を試みるプログラムを確立する。 ③ <地域住民>学びを通じた生活の質の向上、企業活動の加速、児童・生徒の新たな発見

	<p>→ 蓄積した知識・技能や地域の文化を継承・還元するとともに、新たな学びの機会を通じて地域住民のQOL向上や企業活動の活性化、児童・生徒の新たな気づきを導出する。</p>
<p>整備した設備・物品</p>	<p>○会議室のリノベーションに係る設備・物品一式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャスター付きワークテーブル、ミーティングチェア、移動式ホワイトボード ・床材（タイルカーペット）・ロールカーテン ・大型スクリーン、プロジェクター、広角カメラ、集音マイク、壁面ホワイトボード
<p>取組みの 主担・実施者</p>	<p>主 担： グローカル推進委員会（准校長・教頭・首席・学年主任・有志参加者5名） 実施者： 全教員、能勢の高校を応援する会</p>
<p>本年度の 取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な物品の納入完了が2023年3月上旬までかかってしまった。 ・「能勢町版寺子屋」の実施に向けて、毎月「能勢の高校を応援する会」との協議の場を持ち、実施に向けた準備を進めた。 ・「地域協働コンソーシアム」のコアメンバーとの協議を1回実施。「能勢の地域魅力化PBL」を共同開発に向けて、一部のプログラムを試行実施した。 ・姉妹校であるアスタ高校（マレーシア）の校長と連絡を取り、コロナ禍における両校でできることを協議した。 ・今年度取り組んでいる課題探究GS最終発表会は町内の文化施設で実施した。地元自治体職員や住民・保護者も参加する発表会とし、本校の課題探究活動に対する様々な意見ももらう場とした。
<p>成果の検証方法 と評価指標</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 全国的な学力コンクールでの顕彰【グローバルハイスクールミーティング（文部科学省）等のコンクールで金賞受賞】 ② 生徒と外部人材（企業・団体・学校等）との接点数【20組織以上】 ③ 生徒－地域住民連携型ワークショップの実施回数【2回】 ④ 学校教育自己診断（生徒）の項目「学ぶ意欲が高まった」の肯定回答率【60%】、「地域課題の解決につながっている」の肯定回答率【60%】 ⑤ 地域に向けた報告会等の実施【年間1回】
<p>自己評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 全国的な学力コンクールでの顕彰【グローバルハイスクールミーティング（文部科学省）等のコンクールで金賞受賞】 <ul style="list-style-type: none"> → 共創空間構築に係る物品の調達等に期間を要し、稼働開始が大幅に遅れてしまったため、共創空間を活用した全国的な学力コンクールでの顕彰には至っていない。（△） ② 生徒と外部人材（企業・団体・学校等）との接点を20組織以上と持つ <ul style="list-style-type: none"> → 外部人材との接点数は33組織であった。……………（◎） ③ 生徒－地域住民連携型ワークショップを年間2回実施 <ul style="list-style-type: none"> → 稼働開始が遅れた影響により、生徒－地域住民連携型ワークショップは実施できなかった。……………（△） ④ ・自己診断（生徒）の項目「学ぶ意欲」の数値が60%以上 <ul style="list-style-type: none"> → 学校教育自己診断（生徒）の「学ぶ意欲」の項目の数値は69%であった。…（○） ・自己診断（生徒）の項目「地域課題解決」の数値が60%以上 <ul style="list-style-type: none"> → 学校教育自己診断（生徒）の「地域課題解決」の項目の数値は63%であった。……………（○） ⑤ 地域に向けた報告会等の実施を年間1回設定 <ul style="list-style-type: none"> → 地域住民も参加する形式での課題探究最終発表会を1回実施した。……………（○）
<p>次年度に向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的な学力コンクールでの顕彰や課題探究GS最終発表会の内容の質向上に向けて、共創空間の稼働率を高める。 ・生徒と外部人材（企業・団体・学校等）との接点を30組織以上と持つ。

- ・「能勢町版寺子屋」を実施する。実施回数や内容については、「能勢の高校を応援する会」との協議を続け詳細を詰める。
- ・姉妹校であるアスタ高校（マレーシア）の校長と協議を続け、コロナ禍における両校でできることを具体化する。

3. 事業費報告

今年度事業費総額	2,432,239	円
----------	-----------	---

積算内訳

* 決算科目（節）を明示し、節毎に積算内訳を記載すること。

科目（節）	番号	内訳	単価	数量	金額
1 報償費	1				
	2				
	3				
				小計	0
2 旅費	1				
	2				
	3				
				小計	0
3 消耗需用費	1	両面スチールホワイトボード	¥14,904	4	¥59,616
	2	WEB会議カメラ	¥42,790	1	¥42,790
	3	マイクスピーカー（Anker Power Conf）	¥8,800	2	¥17,600
	4	キャスターテーブル（台形）	¥19,250	18	¥346,500
	5	スタッキングチェア	¥8,250	64	¥528,000
	6	タイルカーペット	¥836	520	¥434,720
				小計	¥1,429,226
4 維持需用費	1				
	2				
	3				
				小計	0
5 役員費	1				
	2				
	3				
				小計	0
6 委託料	1				
	2				
	3				
				小計	0
7 使用料 及び賃借料	1				
	2				
	3				
				小計	0
8 備品購入費	1	プロジェクター（一式）	¥645,194	1	¥645,194
	2	会議室南面ロールスクリーン（一式）	¥163,130	1	¥163,130
	3				
				小計	¥808,324
9 工事請負費	1	黒板ホワイトボード化改修工事	¥194,689	1	¥194,689
	2				
	3				
				小計	¥194,689
10 負担金・補助 及び交付金	1				
	2				
	3				
				小計	0
				合計	¥2,432,239